

フレンドリー FRIENDLY



公益財団法人 大垣国際交流協会 令和3年度 地域国際交流事業 おやこ国際理解講座～ブラジル編～ 一般財団法人 自治総合センター コミュニティ助成事業

トウモロコシのケーキ、
親子で協力して作りました。



上手に
焼けたかな？



▲講師の小池由実さん

ブラジル人は 家族・友人と集まるのが大好き!!



▲ベビーシャワーのご馳走

ブラジル人は、家族、友人とよく集まります。誕生日会など特別な時はもちろん、そうでなくても家族、友人と集まることがよくあります。それは、大切な人と一緒に過ごす時間を何よりも大事に思っているからです。

びっくりするのは、集まる人数。誕生日会ともなると、100人くらい集まることもよくあるそうです。

また、親戚や友人30人くらいで郊外のリゾート地の別荘を貸し切り2泊3日で集まったりもします。バーベキュー、プール、サッカーなどで過ごします。

家族、友人が集まる大きなイベントの一つに、ベビーシャワーがあります。赤ちゃんが生まれる前のお祝いパーティーです。安産を祈願すると共に、出産後に必要なオムツなどをプレゼントするための大イベントで、よく行われます。



▲家族、友人との集まり

ポルトガル語のあいさつOi! Amigos!

おはよう (さようなら)	Bom dia. (ボン ジェア)
こんにちは	Boa tarde. (ボア タルジ)
こんばんは (おやすみなさい)	Boa noite. (ボア ノイチ)
ありがとう	あなたが男性の場合 Obrigado. (オブリガード)
	あなたが女性の場合 Obrigada. (オブリガダ)

11月23日(火・祝日)に、スイトピアセンター料理実習室で「おやこ国際理解講座～ブラジル編～」を開催しました。小学生の親子6組(12人)が参加され、「トウモロコシのケーキ」を作りました。とても簡単にできるので、講師の小池由実さんは、6歳頃にお母さんから教えてもらい、一人で作るようになったそうです。また、ブラジルの言葉、日本とブラジルの違うところなど、「普段着のブラジル」を紹介しました。大垣市には2,000人を超えるブラジル人が住んでいます。ブラジルを身近に感じていただけたでしょうか。

No.93
2022
MARCH

文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(B)

地域日本語教育シンポジウム in 大垣

2/13(日) オンライン(Zoom ウェビナー) 参加者74人

地域で暮らす外国人市民にとって、日本語を学ぶ場、そして居場所となる日本語教室について考える「地域日本語教育シンポジウム in 大垣」を開催しました。今年度は、「つながる」をテーマに、愛知県岡崎市で活動する Viva おかざき!! 代表の長尾晴香氏による講演、パネルトーク、当協会の日本語学習支援の報告と日本語教室学習者によるスピーチを行いました。

スイトピアセンターの会場とオンラインの両方で開催する予定でしたが、岐阜県において「まん延防止等重点措置」が適用されたことから、オンラインのみの開催となりました。当協会のボランティアをはじめ全国からご参加いただきました。

長尾晴香氏は、外国人住民との共生社会を目指し、愛知県岡崎市で日本語教室や防災セミナーなどを開催しています。

講演 「日本語教室と地域とのつながり」

～地域とのつながりが鍵になる～



長尾 晴香氏
(Viva おかざき!! 代表)

日本語教室は、外国人住民が言葉を学ぶ場だけではなく、日本人住民も外国人住民も同じ住民として地域の情報を共に学び、お互いを理解できる場だと考えています。教室を通じて、他の住民や行政とつながっていけば、日本語教室が地域の多文化共生の出発点、はぐくむ場として機能していく。例えば、商店を訪問する。教室を通して訪問することで、商店の方も安心して受け入れていただけ、外国人住民を理解いただける。こういった活動が地域とのかけはしとなり、また外国人にも利用してもらえたらいいなということを考えるきっかけとなってもらえたらと思っています。

私たちが目指していくのは、“共生”。お互いが変化してお互いが受け入れていくこと。現状にあったものに変えていくことが求められている。そのためにも、日本語教室が地域、生活しているところとつながっていくことで、変わっていくと思います。

(講演から一部抜粋)

日本語教室学習者のスピーチ



ミヤノ ジェシカさん
(ブラジル出身)



オンラインでブラジルの食べ物などを売るお店を始めました。そのお店を大きくするために、日本語のサイトを作りたい。そのためにも、もっと日本語のコミュニケーションができるようになりたいです。



ヨコヤマ アルトルさん
(ブラジル出身)



日本語教室に来て、少し仕事の言葉がわかるようになって、リーダーさんとコミュニケーションをとるようになっています。もっとコミュニケーションができるように時間を作ってこれからも勉強をしたいです。

パネルトーク 「地域とつながる日本語教室 ～体験談を通して～」



進行：伊藤 かな氏 (岐阜協立大学 非常勤講師)

地域で活動されている外国出身で大垣市に在住の3人の方に、活動を通して感じていることなどをお聞きました。外国人も日本人も、そこに住む全ての人にとってメリットとなるようなつながりをめざして、今後はどのようにしたらいいでしょうか。



岡本 幸氏(ブラジル出身) カピコ(大垣外国人コミュニティサポートセンター) 代表

私の周りに、日本語が十分でないですが、社会の役に立ちたい人がいます。それぞれが持ったスキルを活かす仕組みがあればいいなと感じています。私もそうでしたが、自分の得意分野で動いていく中で日本語を習得できました。個人の得意な分野で力を発揮してもらうことで、社会に対しても本人の生きがいとでも良いことだと思います。



グエン ティ ジェップ氏(ベトナム出身) 日本語教室支援者

どうしても同じ国の人と友達になりやすく、周りの日本人との間でのコミュニケーションに不安に思っている人がいます。日本人も外国人も互いの理解を促進して、安心して生活するために交流のチャンスを増やして、文化や地域活動を通じた交流ができると良いのではないかと思います。



長瀬 由信氏(ブラジル出身) 防災士、岐阜県外国人防災リーダー

日本語教室は日本での生活で日本人とのつながりができる場所でもあると思うので、大事にしなければいけない。日本は少子高齢化が進み、外国人も一員として考える必要がある。日本人には「日本社会に受け入れてもらえるように頑張っている外国人がいる」こと、また外国人には「外国人と共生のために一生懸命やっている日本人がいる」ということを、お互いに知ってほしい。お互いの気持ちを理解し、一緒にやっという、ということ伝えてほしい。みんながつながって、お互いがプラスになるようになってほしい。



長尾 晴香氏

安心して学べる場所が全ての地域にあってほしい。学ぶだけではなく、地域とつながっていくという視点をもった教室作りが必要だと思います。そして、日本語能力だけでその人の能力を測るのではなく、それぞれの人の得意分野でできることを引き出し、活躍できる場を作り、つないでいこうという思いがあるだけで変わる。自分の経験を地域社会に役立てたいと思っている人たちにつながってもらい、活躍していただけることが大切だと思います。

フレンドリーシティとのビデオレター交換

令和3年8月からフレンドリーシティへ送るビデオレターを作成し、12月に各フレンドリーシティへ送りました。派遣事業に参加した団員の有志19人が、写真や動画を撮影・編集し、大垣や学校生活の紹介、フレンドリーシティの皆さんへのメッセージなどを入れたビデオレターができました。

フレンドリーシティでは、今までの交流事業に関わった人たちにビデオレターを見ていただきました。「懐かしい」「素晴らしいビデオレターだったよ」「こちらからもビデオレター送るよ」とお返事をいただきました。

中国・邯鄲市からは、2年前に大垣を訪問した団員10人から早速ビデオレターが届きました。日本での色々な思い出の内容が話されていました。

ビデオレターの作成に関わってくださった皆さん、ありがとうございました。

各都市への訪問、大垣での受入がまたできるようになることを願っています。



▲ 中学校の給食紹介（海外へ送ったビデオレターより）



▲ 邯鄲市から届いたビデオレターより

令和3年度を振り返って

【国際交流・国際理解事業】

【中止】《フレンドリーシティ派遣事業》

- 中国・邯鄲市小・中学生研修派遣
- ベルギー・ナミュール市中学生研修派遣
- アメリカ・ピーバートン市、ユージーン市高校生研修派遣

【中止】《フレンドリーシティ受入事業》

- 中国・邯鄲市学生訪問団受入
- ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入
- ベルギー・ナミュール市学生訪問団受入

《地域国際交流事業》

- ＊おやこ国際理解講座（一財）自治総合センター助成事業）
 - ・サモア編（8/9）参加者：小学生の親子18組（36人）
 - ・ブラジル編（11/23）参加者：小学生の親子6組（12人）
 - ・多文化共生フォーラム【共催】（主催：岐阜県世界青年友の会）
～各国の現地語ができない人向けの教育について～（6/26）
～Cool Japan 外国人が考えるCool Gifu～（12/4）

《国際交流ボランティア活動推進事業》

- ＊日本語学習支援ボランティア講座（文化庁受託事業）
 - 入門編（7/31～11/3【全5回】）受講者：14人
 - ブラッシュアップ編（1/8～3/3【全4回】）受講者：7人

《民間国際交流助成事業》

- ＊助成事業：2団体2事業

《外国語基礎会話講座》【一部講座は途中で中止】

- ＊英語基礎会話講座（10/23～12/11【全8回】）
講師：加藤 ミリアム氏（英会話講師）受講者：13人
- ＊ポルトガル語基礎会話講座（10/24～12/12【全8回】）
講師：進藤 明美氏（ポルトガル語通訳・翻訳）受講者：6人
- ＊中国語基礎会話講座（1/13～1/20【全2回】）
講師：松原 玉林（大垣国際交流協会職員）受講者：15人
- ＊韓国語基礎会話講座（1/15【全1回】）
講師：兪 瑞香氏（韓国語講師）受講者：10人

【中止】《海外事情紹介事業》

- 海外研修派遣事業報告会

《国際相互理解事業》

- ＊事業記録写真等の展示（スイトピアセンターフレンドリーフロアにて）
- ＊広報事業
 - ・機関誌「フレンドリー」発行（9月、3月）
 - ・ホームページによる広報：随時更新中

【多文化共生事業】 《外国人市民支援事業》

＊外国人市民の日本語学習支援

- ・ボランティアによるマンツーマン方式日本語学習支援
学習者数：100人、ボランティア数：72人（2月末現在）
- ・オンラインにほんごおしゃべりルーム（毎月第1、第3日曜日）
- ・外国人市民のための日本語教室（文化庁受託事業）
【一部のクラスは途中で中止】
 - ・レベル1（6/27～1/16【全20回（2期）】）受講者：計33人
 - ・レベル2（7/4～1/16【全17回（2期）】）受講者：計30人
 - ・せいかつのにほんごクラス（11/7～12/26【全8回】）受講者：13人
- ・地域日本語教育シンポジウム in 大垣（2/13）（文化庁受託事業）
参加者：74人
- ・就学前外国人児童日本語等指導事業（大垣市受託事業）
（11～3月）参加者：49人

＊外国人市民のための相談窓口の設置

- ・相談窓口 [ポルトガル語、中国語、英語]
- ・行政書士による行政手続き相談会（毎月第1日曜日）
- ・ポルトガル語によるこころの相談（毎月第2日曜日）
《（公財）岐阜県国際交流センター助成事業》

【中止】外国人市民のための行事・講座

- ・外国人市民のための日本文化講座
- ・神輿体験 in 十万石ふる里まつり
- ・外国人市民のための浴衣体験

＊ブラジル人等子弟日本語学習支援事業

- ・日本語指導者派遣（学校法人 HIRO 学園への派遣）（毎週月・木曜日）

令和4年度 事業計画

【フレンドリーシティ派遣・受入事業】

- ＊大垣市中学生研修派遣（ドイツ・シュツットガルト市）（7月）
- ＊大垣市小・中学生研修派遣（オーストラリア・グレンアイラ市）（8月）
- ＊大垣市高校生研修派遣（アメリカ・バーバトン、ユージーン市）（10月）
- ＊中国・邯鄲市学生訪問団受入（8月）
- ＊ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入（9月）
- ＊ベルギー・ナミュール市学生訪問団受入（10月）
- ＊オーストラリア・グレンアイラ市学生訪問団受入（12月）
（状況により、中止になる場合があります）

【地域国際交流事業】

- ＊国際理解ワークショップ「作って学ぼうヨーロッパ」(11月、1月)

【国際交流ボランティア活動推進事業】

- ＊日本語学習支援ボランティア講座（7月、10月、1月）
- ＊ボランティアの集い（3月）

【外国語基礎会話講座事業】

- ＊英語基礎会話講座（10月）
- ＊フランス語基礎会話講座（10月）
- ＊ドイツ語基礎会話講座（1月）
- ＊韓国語基礎会話講座（1月）

【海外事情紹介事業】

- ＊海外研修派遣団員報告会（小・中学生:11月、高校生:12月）

【民間国際交流助成事業】

- ＊民間国際交流団体助成（随時）

【国際相互理解事業】

- ＊事業記録写真等展示＜海外紹介、事業紹介＞（随時）
- ＊機関誌「フレンドリー」発行（9月、3月）
- ＊ホームページによる広報（<http://www.i-oiea.jp>）

【多文化共生事業】

- ＊外国人市民のための日本語学習支援
 - ・ボランティアによるマンツーマン方式日本語学習支援（通年）
 - ・にほんごおしゃべりルーム（通年）
 - ・外国人市民のための日本語教室（5月、8月、11月開講）
 - ・地域日本語教育シンポジウム（2月）
 - ・就学前外国人児童日本語等指導事業（大垣市受託事業）（11～3月）
- ＊外国人市民のための相談窓口の設置（無料）
 - ・相談窓口 [ポルトガル語、中国語、英語]（通年）
 - ・行政書士による行政手続き相談会（毎月第1日曜日）
 - ・ポルトガル語によるこころの相談（毎月第2日曜日）
 - ・【新規】弁護士による法律相談会（毎月第4日曜日）
- ＊外国人市民のための行事・講座
 - ・外国人市民のための日本文化講座 [和服体験]（通年）
 - ・外国人市民のための浴衣体験（8月）
 - ・外国人市民のための神輿体験（10月）
- ＊ブラジル人等子弟日本語学習支援事業
 - ・日本語指導者派遣（通年）

国際交流ボランティア感謝状贈呈

令和3年4月1日現在で、15年以上当協会の国際交流ボランティアとして登録されている7名の皆さまへボランティア感謝状を「地域日本語教育シンポジウム in 大垣」にて贈呈の予定でした。しかし、当シンポジウムがオンライン開催となったことから、お名前のみご紹介し、4月1日に贈呈式を予定しております。長きに亘りご協力いただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

市橋 剛 様	大西 進 様	河合 雪子 様
川瀬 紀美 様	櫻井 國博 様	西脇 みさを 様
村田 千恵子 様		

大垣市在住外国人の国籍別人数表

総数:5,399人 前号(令和3年9月号)との比較 112人減

	令和4年2月末	前号(令和3年8月末)との比較
ブラジル	2,285	-78
中国	1,140	-36
ベトナム	541	6
フィリピン	485	-1
韓国又は朝鮮	279	-1
その他	669	-2
合計	5,399	-112

総人口に占める割合 3.4%

編集後記

オミクロン株が収まる気配がない中、2022冬の北京オリンピック・パラリンピックが開催されました。平和と共生が求められるオリンピックが開催される時に、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、世界情勢が危険な状況となってきました。フレンドリーな世界に戻ることを祈るばかりです。令和3年度の当協会の行事が中止される中、ブラジル編の「おやこ国際理解講座」を開催することが出来ました。表紙でその様子をお伝えしております。大垣には、多くのブラジルの方が在住され、相互理解による共生が進められています。派遣・受入事業が中止されておりますので、当協会ではビデオレターを作成し、各フレンドリーシティへ送りました。今後、フレンドリーシティからビデオレター

の返信が届きましたら、皆様にお伝えできることと思います。いつの日か、国際交流が自由にできる平穏な世の中になりますように。

大垣国際交流協会の Facebook はじめました!!

多言語に翻訳した情報など外国人市民の方への情報、当協会のイベント情報などを配信します。“いいね”やフォローをよろしくお願いいたします。



Facebook QRコード

フレンドリー No.93

編集／公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会

〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地

スイトピアセンター学習館2階

TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314

<http://www.i-oiea.jp/>

[E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp



発行／2022年3月

印刷／サンメッセ株式会社

ホームページQRコード

